

アジア貢献賞候補者推薦書記入にあたっての説明事項

標記推薦書記入にあたってのポイント、補足説明をいたします。

【推薦にあたってのポイント】の各項目については以下の説明を参考にご記入をお願いいたします。

| 項目 | 説明 |
|------------|---|
| 事業理念・目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・当該候補者団体(個人)がしっかりとした事業理念、目標を持っているか。 ・候補者の理念が、間接的もしくは直接に、国連が定めた SDGs の 17 の目標(※持続可能な開発目標)のどれにあたるかについて該当箇所に記載してください。(複数可、なければ記入不要) |
| 継続性 | <ul style="list-style-type: none"> ・一過性の活動ではなく、継続性を持った活動を行っているか。また、後継者なども含めて将来も継続できるか？ |
| 地域性 | <ul style="list-style-type: none"> ・九州・沖縄・山口を拠点にして、アジアとのつながりの中、地域に根ざした活動、あるいは地域において草の根的な活動を行っているか。 |
| 独自性、手作り度合い | <ul style="list-style-type: none"> ・当該候補者団体(個人)が独自性を持った活動を行っているか。手作り度合いはどうか。 |
| 先導性 | <ul style="list-style-type: none"> ・行っている活動が国際交流や国際貢献の将来を見据えた先導的な役割を果たしているか。あるいは今後に期待がもてる活動か。 |

※「持続可能な開発目標」(SDGs)とは？(次頁に具体的な 17 の目標を記載)

- ・2015 年 9 月の国連総会で 193 の国連加盟国が合意・採択した「我々の世界を変革する: 持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の具体的な 17 の目標のことを指す。

- ・この目標は、2030 年までにあらゆる次元の貧困に決定的な終止符を打つべく国連が定めたもので、政府、民間セクター、市民社会等の関係者すべてが取り組むことが求められており、アジア貢献賞の候補者の活動理念もその目標のどれかに当てはまると考えられる。

<参考>持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals =SDGs)

- 目標 1 : あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ。
- 目標 2 : 飢餓に終止符を打ち、食糧の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。
- 目標 3 : あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。
- 目標 4 : すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。
- 目標 5 : ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る。
- 目標 6 : すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する。
- 目標 7 : すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。
- 目標 8 : すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する。
- 目標 9 : レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る。
- 目標 10: 国内および国家間の不平等を是正する。
- 目標 11: 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする。
- 目標 12: 持続可能な消費と生産のパターンを確保する。
- 目標 13: 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る。
- 目標 14: 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する。
- 目標 15: 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る。
- 目標 16: 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する。
- 目標 17: 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。